



街路樹



家庭学習の質を高める



1月

不登校の予防



「平成27年度全国学力・学習状況調査に係る福島県の結果(概要版)」によると、児童生徒質問紙調査からは、「家で学校の授業の復習をしていますか」の質問に対し、小・中学校ともに復習の割合が平成26年度調査と比較すると高く、学習内容の定着を目指し、努力する子どもたちの姿が見られる結果となりました。

本市においても同様の結果が見られましたが、学校現場においては、意欲はあっても具体的な学習行動が伴わなかったり、学習方法・学習習慣に課題を抱えたりする児童生徒がまだ見られるのではないのでしょうか。

学校質問紙における本市の結果によると、「家庭学習の取組として、児童(生徒)に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにしましたか」(国語・算数(数学)共通)の質問に対し、「よく行った」との回答は、小学校28.8%、中学校21.2%であり全国や県の結果より低くなっています。このことから、家庭学習の仕方についての指導を改善し、具体的に例を挙げてきめ細かく指導する等により、家庭学習の質を高めていくことが必要です。

家庭学習の内容は、全員必須か任意か、授業と直接関係があるかないか、予習か復習かなどのタイプがありますが、いずれの場合も共通する指導の観点として次の3つが挙げられます。

- 一律の宿題ではなく個に応じた宿題
 - 全ての児童生徒一人一人に合った宿題を課すことは困難です。理解度に応じて何通りかに出し分けたり、中学校では教科間の調整を図る工夫をしたりすることも必要です。
- 授業の学びが生きる宿題
 - 「この宿題をして授業に臨んだら、次の学習がよくわかった」「今日学んだことが、宿題に取り組むことでより理解できた」と実感してもらえる出し方が大切です。「授業とのつながりを考えた宿題」や「宿題で取り組ませたことを生かした授業」を意識し、児童生徒に「家庭学習の成功体験」をさせることが鍵となります。
- 具体的な学習方法の指導
 - 授業の中で効果的に家庭学習をするための方法はきちんと指導したいものです。家庭学習の手引きとともに、家庭学習のノートチェックを通してできるだけ具体的に伝えます。特に中学校では、「いつの間にか伸びた友だち」は非常に気になることでしょう。大きく伸びた生徒の「学習計画の立て方」「弱点の克服法」「ノートの工夫」などを伝え合うことも一方法です。

確かな学力の定着と家庭学習は切り離すことはできません。児童生徒の意欲が学力向上に結びついていくような家庭学習のあり方を各学校や地域の実態に応じて追究していくことが大切です。



参考文献「全国学力・学習状況調査を受けての指導改善資料」
いわき市学力向上支援連絡協議会
「授業をつくる16の視点」 福島県教育委員会

いわき市内の不登校児童生徒数は平成27年12月現在昨年度同時期と比較し横ばいの状況です。昨年度の中学3年生不登校生徒が卒業し、調査対象外となっていることを考えると、今年度新たに同数程度の不登校児童生徒が発生していることとなります。

不登校児童生徒への学校としての対策として、復帰に向けた取組とともに、新たな不登校児童生徒を出さない取組も求められています。不登校にならないようにする働きかけが「不登校の予防」であり、次の二種類があります。



○不登校の未然防止

不登校という事象に対して学校が取り組むべきことは、全ての児童生徒が学校に来ることを楽しいと感じ、学校を休みたいと思わせないような日々の学校生活の充実です。

どの児童生徒も落ち着ける場所をつくること、全ての児童生徒が活躍できる場面をつくるのが鍵になります。

○不登校の初期対応

不登校の予兆とは、1日、2日…と児童生徒が学校を休み始めることにほかなりません。前の学年で30日以上長期欠席が見られた児童生徒や前の学年までに累積30日以上欠席が見られる場合には、欠席が2~3日続いただけでも予兆と捉え、児童生徒の状況に応じた働きかけを適切に行うことが大切です。

不登校児童生徒の復帰に向けての取組とともに「不登校の予防」への対策も見直し、不登校児童生徒ゼロを達成しましょう。

「国立教育政策研究所生徒指導リーフ」より

研修講座のお知らせ・研修感想紹介

<教育実践研究発表大会のご案内>

本大会は今日的課題についての実践研究発表を通して、これからの学校における教育実践に寄与することを目的として開催しております。

午前の部では、調査研究委員会による2年間にわたる日々の授業や教育活動に関する研究の発表の場を設定し、午後の部では、文部科学省教科調査官の水戸部修治先生による講演を予定しております。

多くの先生方に参加していただき、いわきの教育の発展、いわき子どもたちのために、参加して得たことを日々の教育実践に生かしていただけることを期待しております。

<不登校対策講座(講師:国立教育政策研究所 中野澄氏 11月19日実施)の感想紹介>



☆未然防止・初期対応・自立支援を状況に応じて目的を持って取り組みたい。

☆子どもが魅力的だと感じる「心の居場所」となる学級づくりに心がけたい。